

V. 平成27年度 ベルアルプ 事業計画

1. 基本方針

「その人らしさを大切に」「笑顔あふれる生活を」

ユニットケアの特性を活かし、パートナーの個別の価値観を尊重した生活スタイルを支援するとともに、QOL（生活の質）の向上をめざした取り組みを実践する。

その人らしさを大切にした生活、笑顔あふれる生活を実現するため、「できること」の自立支援から、「やりたいことができる」生活支援をめざす。

自己の生き方の選択を支援し、日常生活の延長にある「看取り」に積極的に取り組む。各重点項目の到達度を「見える化」する。

2. 重点活動事項

(1) QOL（生活の質）の向上をめざした取り組み

- ア) 認知症高齢者の個別ケアの実践状況を評価する。
- イ) 看取り介護の体制をPDCAサイクルにより再構築する。
- ウ) 摂食・嚥下チームによる定期的な嚥下評価および「口から食べる」ことを積極的に支援する。
- エ) ユニットケアのさらなる推進と到達度を評価する。
- オ) 福祉サービス第三者評価審査後の結果をもとに改善活動を継続する。

(2) 地域および関連機関と連携し、地域包括ケアの実現に参画

- ア) 入居者の重度化に伴い、医療機関との連携を強化する。
- イ) ベルアンサンプルで協力し、地域への「出前講座」を実施する。
- ウ) 地域包括支援センターとの連携を強化する。
- エ) 地域住民と交流できる「ベルアルプふれあい喫茶」を継続する。
- オ) 短期入居の緊急受け入れ体制およびADL・IADLの維持・向上をめざした個別機能訓練を強化する。
- カ) 介護福祉士による喀痰吸引など研修事業の効果を評価する。

(3) 職員がやりがいを感じる職場づくりへの取り組み

- ア) キャリアパスの運用の周知およびキャリアアップファイルを活用し、個々の職員のキャリアアップを支援する。
- イ) 超過勤務の分析、業務改善などにより働きやすい職場づくりをする。
- ウ) 平等に有給休暇取得ができる工夫をする。
- エ) 施設内で主体的なユニットケア活動の発表会を実施する。

(4) 経営安定化への取り組み

- ア) 入居・短期入居 稼働率 95%以上をめざす。
- イ) 入院・退居時は空床期間を推測し、短期入居利用で稼働率を確保する。
- ウ) 短期入居・デイサービスの新規登録者数拡大に努める。
- エ) 療養通所介護の創設を検討する。
- オ) 経費削減を継続する。
- カ) 介護報酬改定に柔軟に対応する。

(5) ベルアルプデイサービスセンターの活動目標

- ア) 各事業所に医療ニーズの高い利用者の受け入れ、短期入居の併用利用可能をPRし、新規登録者・利用者数の拡大に努める。
- イ) 多職種と連携し、利用者のニーズに対応した個別機能訓練を強化する。
- ウ) 認知症介護などの研修修了者を配置し、認知症高齢者ケアの質向上に努める。
- エ) 単身世帯のご利用者に「安心声かけサービス」を実施する。
- オ) 介護予防のご利用者に対する自立支援計画を再編する。
- カ) 地域ケア会議に積極的に参加できる体制づくりを整備する。

3. 重点活動目標値

1日平均利用者数 (単位:人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	77	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
短期	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
通所	29	30	31	32	32	32	32	33	33	33	33	33